

滋賀県病院協会報



発行所
滋賀県病院協会
大津市京町四丁目3-28
(滋賀県厚生会館)
TEL 077-525-7525
http://sbk.co-site.jp/
発行人 会長 三木 恒治

令和6年度診療報酬改定と

第8次医療計画に基づいた滋賀県保健医療計画



一般社団法人 滋賀県病院協会 会長
三木 恒治 (済生会滋賀県病院 院長)

令和6年度を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症も2類から5類に格下げになりいろいろな制約も緩和され、会員の皆様方には「忙中閑あり」でしょうか。

さて令和6年度の診療報酬改定は、医療、介護、障害福祉サービスのトリプル改定となりました。医療、介護、障害について同時に改定が行われることから、この機会に制度間の調整が行われることになるため、重要かつ大規模な改定となりました。また来年、2025年は「地域医療構想」の最終年であり、改定は地域医療構想も踏まえた内容となっております。増加する高齢者の救急搬送等も考慮し、適切な急性期入院医療の提供及び機能分化の観点から、転院搬送を含め、救急医療に係る評価の在り方などが論点になりました。

今回の改定について全体を俯瞰しますと、医療では平均在院日数の短縮、リハビリ・口腔・栄養管理の一体的推進による入院中のADL(日常生活動作)の低下防止の施策が重視されています。また介護では、状態の安定しない早期退院患者の受け入れ能力の評価・強化という方向性が示されました。

さらに本年4月から「医師の時間外労働の上限規制」が始まるため、医師並びに医療従事者の働き方改革の推進に向けた評価の在り方も重要で、そのポイントは、医療機関、医療介護、介護機関、医療介護連携の「情報連携」と、それを効率的に進めるための「医療DXの推進」です。また、医師の働き方改革が始まることから、「デジタルツールを活用した業務効率化」と「タスクシフト」も指摘されています。

具体的には診療報酬改定率は本体+0.88%、薬価等が▲1.00%となり、ネットでは▲0.12%と総じて今回の改定は非常に厳しいものになりました。これを受けて、「現下の雇用情勢も踏ま

基本理念は「健康しが」の実現であり、だれもが健康的に暮らし、健康寿命を延ばし、切れ目なく医療福祉が受けられ、そのための医療福祉の人材確保の整備されている、という方向性が示されています。改定のポイントはコロナ感染症の教訓を踏まえ、6事業目として新興感染症発生・まん延時の医療追加、また国の方針に従い、5疾病・6事業・在宅医療でロケットモデルによる施策の整理や指標設定を取り入れ、可視化をはかり評価してゆくことです。具体的な内容は滋賀県保健医療計画を参照ください。

急速に進んでいる少子高齢化と人口減少への社会対応としての必要な診療報酬改定であり、医療計画ですが、院長、事務部長をはじめとする病院管理者には、より一層高い次元でマネジメント力が求められているのではないのでしょうか。



令和5年度(第43回)滋賀県病院大会 盛會裡に終わる

去る令和6年1月21日(日)午後1時よりピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター2階 ピアザホールにて、多くの方にご参集いただき、盛大に開催されました。

滋賀県病院大会は県下の病院従事者が一堂に会し、病院を巡る諸問題について協議研究を深め、今後の病院運営に資するために開催することを目的とし、昭和56年度から開催されており、今回で

43回目の開催となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度からの数年は中止されておりましたが、4年ぶりに会場に参集し開催することが出来ました。

前半は、一般社団法人滋賀県病院協会三木恒治会長より開会挨拶、続いて各種表彰の授与式が執り行われました。病院業務功労者知事表彰受賞者3名へ滋賀県三日月知事

の代理で大杉住子副知事より表彰状と記念品が授与され、優秀職員会長表彰受賞者16名および永年勤続会長表彰受賞の代表者へは三木会長より表彰状と記念品が授与されました。ご来賓の大杉住子副知事、滋賀県議会より有村國俊副議長、一般社団法人滋賀県医師会より越智眞一会長から御祝辞を頂戴するとともに、ご後援を頂戴した各関係団体各位を、紹介させてい

たいただき、式典は無事に終了させていただきました。ご来賓の皆様、ご後援いただいた各関係団体各位、ご来賓の大杉住子副知事、滋賀県議会より有村國俊副議長、一般社団法人滋賀県医師会より越智眞一会長から御祝辞を頂戴するとともに、ご後援を頂戴した各関係団体各位を、紹介させてい

たいただき、式典は無事に終了いたしました。ご来賓の皆様、ご後援いただいた各関係団体各位、ご来賓の大杉住子副知事、滋賀県議会より有村國俊副議長、一般社団法人滋賀県医師会より越智眞一会長から御祝辞を頂戴するとともに、ご後援を頂戴した各関係団体各位を、紹介させてい

お招きし、各々の見解について発表いただきました。(詳細は左段参照)

最後に、4年ぶりの開催となりました滋賀県病院大会は、各病院の先生方をはじめ皆様方の協力のもと盛會のうちに終えることができました。そして、当日はお忙しい中ご参加くださいました皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

光会理事 淡海医療センター 病院長の北野博也先生には「医療経営からみたDXと医療支援口ポット導入の経験」を、医療法人社団仁会甲南病院院長の神谷純広先生には「中小病院における業務効率化のための医療DX」の講演を行なっていただき、シンポジウム形式でディスカッションを行いました。

当協会会長の来見良誠先生(地域医療機能推進機構滋賀病院長)の閉会挨拶により、大会は盛會裡に終了いたしました。

令和5年度 滋賀県病院大会シンポジウム 「患者さんへのサービス向上と業務効率化を両立する医療DXを目指して」を開催して



座長
滋賀県病院協会 理事
高折 恭一 (市立長浜病院 院長)

滋賀県病院大会は、県下の病院従事者が一堂に会し、病院をめぐる諸問題について協議研究を深め、今後の病院運営に資するために開催することを趣旨としています。昭和56年度から開催されてきた歴史ある大会ですが、令和2年からは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、4年ぶりに令和6年1月21日(日)、ピアザ淡海にて現地開催することができました。

恒例により、式典、特別講演(県民公開講座)、シンポジウムの三部構成

としました。式典は13時から開催され、一般社団法人滋賀県病院協会の三木恒治会長(済生会滋賀県病院 院長)による開会挨拶、続いて表彰授与が執り行われました。病院業務功労者知事表彰、三日月知事の代理としてご登壇の大杉住子副知事は、受賞者3名に一人ずつ賞状と記念品を授与され、長年に亘るその労をねぎらわれました。続いて病院協会優秀職員会長表彰受賞の16名には、三木会長から賞状と記念品が授与されました。また、同一病院に引き続き15年以上勤務の方を対象とする永年勤続会長表彰には、47病院412名の方々が

中村先生を紹介されました。中村先生からは「AIとデジタルで、患者さんに寄り添った心温まる医療を!」というタイトルで、医療現場におけるAIの活用を含めた最先端の情報を提供していただきました。滋賀医科大学情報総合センターの大学情報部長の菅原貴司教授には「患者さんのための医療DXと情報セキュリティ対策の狭間で」を、大学病院の立場から、社会医療法人誠

該当され、各位の代表者に会長から賞状と記念品が授与されました。続いて、ご来賓の滋賀県副知事大杉住子様、滋賀県議会副議長有村國俊様、一般社団法人滋賀県医師会会長 越智眞一様のお三方から祝辞を頂戴するとともに、ご後援を頂戴した関係団体各位を紹介し、式典は無事終了しました。

特別講演(県民公開講座)は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長 内閣府SIP第二期「AI・ホスピタル」プログラムディレクターの中村祐輔先生をお迎えし、病院協会の三木会長が座長を務め、



受賞おめでとうございます

令和5年度滋賀県病院大会
令和6年1月21日(日)ピアザ淡海
滋賀県立県民交流センター2階
ピアザホールにて表彰式

令和5年度 病院業務功労者知事表彰

3名(五十首順)

地方独立行政法人
公立甲賀病院
副院長補佐(兼)

金 哲将氏

泌尿器科主任部長

公益財団法人青樹会
滋賀八幡病院 院長

濱名 優氏

大津赤十字病院
緩和ケア部長 兼

第二消化器科部長
三宅 直樹氏



令和5年度 病院業務功労者知事表彰受賞者(3名)

令和5年度
滋賀県病院協会
優秀職員会長表彰

16名(五十首順)

医療法人幸生会琵琶湖
中央リハビリテーション
病院 院長補佐

田村 明美氏

独立行政法人地域医療
機能推進機構滋賀病院
事務部長

中野 良文氏

飯田 匡氏

社会医療法人誠光会
淡海ふれあい病院
副院長 中村 文泰氏

大津赤十字病院 看護
部長 橋添 礼子氏

社会福祉法人青祥会
セフィロト病院
看護師 小野 千景氏

地方独立行政法人
市立天津市民病院
看護局次長

川島 もと子氏

滋賀医科大学医学部附
属病院 副病院長
(看護担当) 看護部長

小寺 利美氏

近江八幡市立総合医療
センター 副院長(兼)
看護部長

白井 直美氏

高島市民病院 診療部
循環器内科科長

杉原 秀樹氏

一般社団法人水口病院
看護師

田村 明美氏

独立行政法人地域医療
機能推進機構滋賀病院
事務部長

中野 良文氏

社会医療法人誠光会
淡海ふれあい病院
副院長 中村 文泰氏

大津赤十字病院 看護
部長 橋添 礼子氏

社会福祉法人青祥会
セフィロト病院
看護師 小野 千景氏

地方独立行政法人
市立天津市民病院
看護局次長

川島 もと子氏

滋賀医科大学医学部附
属病院 副病院長
(看護担当) 看護部長

小寺 利美氏

近江八幡市立総合医療
センター 副院長(兼)
看護部長

白井 直美氏



令和5年度 優秀職員会長表彰受賞者(16名)

令和5年度
滋賀県病院協会
永年勤続会長表彰

(勤続15年以上)
47病院412名

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

代表 一般社団法人水
口病院 精神保健福祉
士 地域生活支援セン
ターしづま 所長

松宮 貴義氏

令和5年度 新任病院長の紹介
(令和6年4月1日付け)
医療法人華頂会 琵琶湖養育院病院長 有村 哲朗氏
滋賀県立精神医療センター 病院長 増井 晃氏
医療法人社団美松会 生田病院長 松村 一弘氏
医療法人社団幸信会 青葉病院長 山口 信一郎氏
公益財団法人 豊郷病院 院長 難波江 正浩氏

必要があり、感情だけで判断せず、広い視野を持ち他部署の状況なども調査したうえで交渉する技術が必要だということに学びました。管理者の継続的学習は経験・省察・概念化・実践のサイクルを意識し、特に病棟師長は自己啓発で起こったミスや良かったことをこのサイクルで振り返ることで、その場限りの出来事と終わらせるのではなく、今後に繋がり、他部署でも共有することが出来ます。後半では、人生の価値観はできるだけ自分がない環境に身を置くことであり、ロールモデルに出会えるかが人生を変えると言っても過言ではないということをお教わりました。管理者自身もロールモデルになる努力が必要となり、係長は師長の留守をまもる人ではないという言葉にはハッとさせられました。アンケートでは各々の体験と重ね共感できることが多く先生の情熱が伝わる研修となったという意見が多く聞かれました。先生の最後のメッセージにあった「何よりもまず、自分自身が幸せに暮らしてください」という言葉を胸にこれからも管理者として頑張っていきたいと思える研修になったと思います。

令和5年度 第3回 医事研究会に参加して
滋賀県立総合病院 医事課 主査 田中 幹也
令和6年2月27日、滋賀県病院協会主催による令和5年度第3回医事研究会が当院臨床研究センター講堂において開催されました。
今回の研究会は、「2024年診療報酬改定のポイント」と題し、株式会社NextPlan 代表取締役の井口勢津子さんを講師に招いて行われました。
2年前の診療報酬改定時は、新型コロナウイルス感染症の流行の最中であったこともあり、滋賀県病院協会会員の各病院の皆さんと一緒に参加できたことがとても感慨深いものとなりました。
また、令和6年度の改定は「6年に一度の診療報酬、介護報酬および障害福祉サービス等報酬の同時改定」であり、これまで以上に医療と介護等の役割分担と切れ目のない連携を著実に進めるものな方向が形となって示されています。
このように、入院基本料等の評価見直しにおいて、ハイケアユニットの評価項目・患者割合の見直し、地域包括ケア病棟での救急搬送患者の受け入れ促進、療養病棟での医療区分、等の基本的な方向が形となって示されています。
今回の研究会で井口講師からの説明にありまして、今回の研究会でハイケアユニットの評価項目・患者割合の見直し、医療・看護必要度の評価項目・患者割合の基準の見直し、地域包括ケア病棟での救急搬送患者の受け入れ促進、療養病棟での医療区分、等の基本的な方向が形となって示されています。
スケジュール的には今回の診療報酬改定から施行が6月となったところでもあり、しっかりと準備を進め、医事担当として新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えた病院経営に努めていきたいと決意を新たにしました。
今後とも滋賀県病院協会の会員の皆様と情報交換や意見交換を密接に行いながら、共に滋賀県の医療の向上に力を尽くして参りましょう!!



令和5年度 第3回 医事研究会に参加して